

# 白樺と虹と太陽と

令和5年度 校長通信

7月24日発行

第4号

文責 中野善文

## 躍進の74日間！ 次のステージに向けて ～1学期の振り返りと2学期の展望～

4月6日（木）からスタートした令和5年度。74日間の学びを無事に終え、明日から夏休みになります。この1学期を振り返るとともに2学期の展望を述べたいと思います。

まず、校長として全校44名の通知表をしっかりと確認しました。そこには、学習の頑張りの他、行事や大会等を通じて一人ひとりが成長した様子が丁寧に記されていました。

### 行事

3年生のリーダーシップの下、全員がチーム目標の実現のために全力で取り組んだ体育祭は、一人ひとりの「自主の精神」・「敬愛の精神」を育み、全校の連帯感を深めました。一枚岩となって成長した山形中学校は、その後の中総体にも、全校が心をついに大会に臨み、例年以上の好成績を収めることができました。

3年生の東京修学旅行、2年生の盛岡宿泊研修、1年生の山形野外活動とも、地域学の視点とキャリア教育の視点をもち合わせながら、将来の自己の生き方と将来の山形を考える貴重な機会となりました。

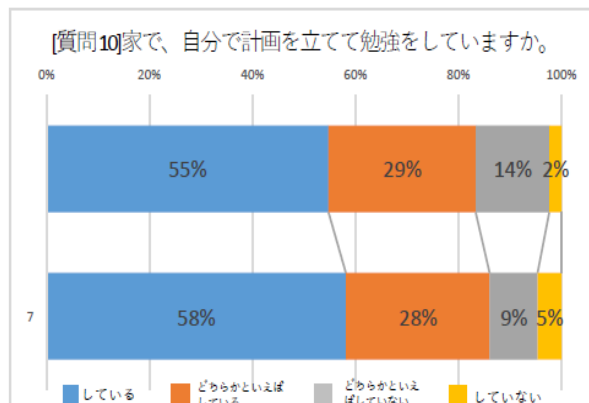
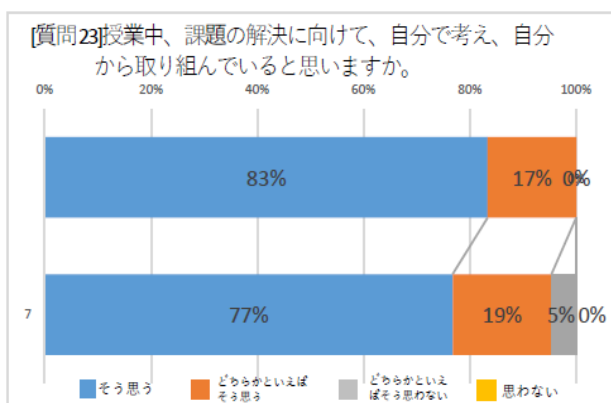


### 学習

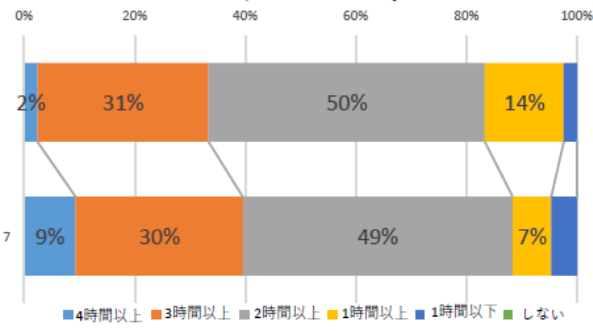
今年度の授業改善の視点として、先生方は「主体的な学び」「個別最適な学び」を重点に置いて取り組んでいます。生徒が意欲をもって授業に臨むような工夫と解決までの見通しをもってそれぞれに取り組めるように工夫しました。

また、ロイロノート（タブレット）を活用して調べたり、他の生徒の考えと自分の考えを比較したり、自分なりの方法と自分なりのペースで学習できるように、今求められる学習のスタイルに近づいてきたように思います。では、生徒の学習の様子はどうだったでしょうか。

今回は、隔月（5,7月）で実施している質問紙調査の結果をもとに考えてみます。



【質問9】学校の授業以外で、平日（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。



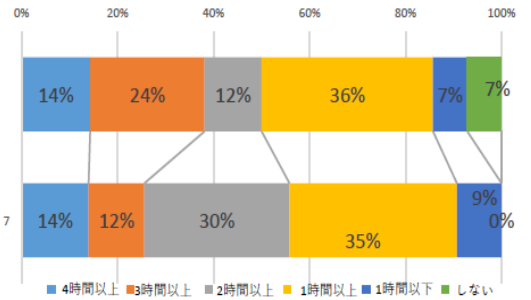
## 生活

学校での生活は、何事に対しても素直に真面目に取り組む姿勢が立派でした。2学期は、「自ら気付き・考え・行動する姿」がもっと見られることを期待します。例えば、清掃の時間が残っていたら、普段手が行き届かない場所を進んできれいにするとか、大会や地域等の校外活動で、保護者や関係者の方がいらしたら、個人でもチームでも自ら進んであいさつするなど、大谷選手のように自分を高める行動を、わたしも含めて心がけたいものです。

家庭生活では、スマホ等の通信機器の利用が気になっていましたが、使用時間が少し減少したように感じます。夏休みは、タブレットを利用した学習も有効に行ってほしいですが、YouTube やゲームの誘惑が待っているかもしれません。どれだけ自制心をもって過ごせるか？夏休みの大きな鍵を握ります。

この他に、時間にゆとりのある夏休みだからこそ、読書にも親しんでほしいと思います。読書は、学力・人間力にも影響する価値ある営みです。

【質問8】平日（月曜日から金曜日）に、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか。



## 2学期の展望

生活・学習・部活動（新人戦）・文化祭・合唱・演劇（県総文祭）  
白樺植樹・闘牛大会・ガタゴンまつり

2学期は、1学期に積み上げてきたものを更に発展させ、成果を発揮する学期になることを期待しています。学習面では、夏休みの計画的な取組が重要です。宿題（基本的には1学期の復習）を早めに終わらせ、高校入試・夏休み明けテストに向けての自主学習を行いましょ。

1・2年生は、新人戦に向けて、技術・体力の向上が求められます。特設陸上の練習で体を鍛え、部活動で基礎・基本となる技術をしっかりと身につけ、応用練習へと進んでいきましょう。

新人戦を終えると、文化祭に向けての合唱・演劇練習が本格化します。地区合唱交流会では、きれいなハーモニーが高く評価されました。まさに、これまでの先輩方が築いてきた山中らしい素敵な合唱でした。更なる高みに向けて、どんな練習をしたらよいのかを先生方と相談しながら練習を進め、文化祭・久慈市音楽発表会で更に進化した歌声が会場に響くことを願っています。

今年度の最大の山場である岩手県中学校総合文化祭も2学期に控えています。地域学で学習した過去と現在を繋いで、テーマである「故郷の未来について」観客の心に深く残る演劇を発表しましょう。テーマに関わる具体的な取組となるのが、夏休み中の「白樺植樹」、夏休み明けの「ガタゴンまつり」、さらには「闘牛大会」です。山形町の大切なこれらの宝を、中学生の皆さんの力で大いに盛り上げてほしいと願っています。間もなく、山中オリジナルのソーラン半纏も完成します。新生「山中ソーラン隊」の活躍を大いに期待しています。

【保護者の皆様へ】白樺植樹に家族で参加してみませんか。昨年の白樺植樹に、わたしは家族と一緒に参加しました。5年後、10年後、白樺とつつじの成長を家族で確かめながら、年齢を重ねていきたいと考えています。家族の絆と故郷を愛する気持ちを大切にしたいものです。